



松島町 Facebook 公式アカウント



松島町 Instagram 公式アカウント



### 第16回松島大漁かきまつり in 磯島

令和5年11月23日、磯崎漁業組合主催による第16回松島大漁かきまつりin磯島が開催されました。会場には焼きがき・かき汁の無料試食コーナーの他、剥き身、殻付きかきの販売、岐阜県大垣市、埼玉県滑川町、山形県中山町の特別出店など多くの出店ブースが並びました。

当日は天候も良く、平年以上に気温も高かったことから、過去最高となる約8,000人の来場者で大盛況となりました。特に1,500食限定のかき汁無料試食コーナーや、通常より安く購入できるかきの販売ブースには長蛇の列ができており、お昼頃には完売していました。生産者からは、「今年は予想を上回る来場者にびっくりした。これからもイベントを通じて松島の美味しいかきをPRしていきたい」と話していました。



▲消防署員による実放水を見学する児童

### 戸締まり用心・火の用心 塩釜地区幼年消防クラブ地区大会

令和5年11月14日、石田沢防災センターにて、町内保育所・幼稚園・こども園の児童が集まり、防火の約束を誓いました。

会場では、全員で「防火のちかい」を読み上げ、「火の用心の歌」を合唱したほか、屋外では消防署員から消防車両や装備の説明を受け、放水の実演も見学し、児童からは歓声が上がっていました。最後に、松島消防署土井署長から啓発品が配られ、こども達にとって防火に対する理解を深めることができた1日となりました。



▲選手と一緒に走る様子

### クイーンズ駅伝出場ニトリ女子ランニングチームによる陸上教室が行われました

令和5年11月27日に松島第二小学校の6年生が、第43回全日本実業団対抗女子駅伝大会(クイーンズ駅伝)に出場したニトリ女子ランニングチームによる陸上教室に参加しました。児童達はランニングの正しい姿勢や手足の使い方のポイントを教えてもらい、学んだことを活かして実践していました。走ることを楽しみながら短距離走や鬼ごっこをする様子が見られました。



▲第五小学校の生徒たちとの記念撮影

### ベガルタ仙台の加藤選手、OBの富田さんが松島第五小学校を訪問

令和5年11月21日にベガルタ仙台の加藤千尋選手、OBの富田晋伍さん(現クラブユニオンニケター)が松島第五小学校を訪れ、3年生から6年生を対象としたサッカー交流が行われました。これはベガルタ仙台のホームタウン活動の一環であり、昨年度に引き続き開催されました。加藤選手や富田さんの実技披露やバス交換、ミニゲームなどを行いました。プロサッカー選手の動きを間近で見、子どもたちは目を輝かせていました。松島町では今後もベガルタ仙台を応援してまいります。

### 世界で最も美しい湾クラブ 世界総会に出席しました

令和5年10月19日より韓国麗水市にて「第17回世界で最も美しい湾クラブ世界総会」が開催され、松島町も出席しました。総会では、「湾と島々の価値を繋ぐ」をテーマに気候変動や海面上昇、津波・台風による被害、人口に対する水の供給など様々な問題の解決に向けて、一致団結して取り組むことに合意しました。

また「Youth & Water」のテーマで行われたミーティングでは、各国の20代の若者が持続可能な環境に関する取り組みや想いを述べ、今後挑戦したいこと等を発表していました。

今回の総会で2024年6月5日の世界環境デーにおいて、世界一斉清掃活動を行うことが決定されました。詳細は今後の広報にてお知らせします。



▲世界で最も美しい湾クラブ加盟湾のみなさん

世界で最も美しい湾クラブ(町HP) →



### 地域活性PFIフォーラムを開催しました

令和5年11月21日、文化観光交流館(アトリエハー)で地域活性PFIフォーラムを開催し、延べ80人に参加いただきました。官民連携を活用した取組による地域活性化の促進を目的として、本フォーラム主催者のNPO法人とつほくPPP・PFI協会が宮城県内で毎年開催しており、20回目となる今回は、松島町での開催となりました。

NPO法人とつほくPPP・PFI協会会長 長風見正三氏、盛岡市公園みどり課平山修剛氏、株式会社深松組深松努氏による講演や事例紹介をした後、櫻井町長を交えてパネルディスカッションを行い、参加した町民、事業者、行政が一緒にこれからのまちづくりについて考える機会となりました。



### 職場体験学習を実施しました

令和5年11月9日・10の2日間、町内外の34事業所の御協力のもと松島中学校2年生の職場体験学習が行われました。教育委員会で22名の中学生を受け入れ、「学芸員」「社会教育主事」の仕事体験を行いました。

体験では、町内の日本遺産「政宗が育んだ『伊達』な文化」の構成文化財をめぐってその魅力を伝えるSNS記事を作成してもらったほか、町内の各小学校や幼稚園・社会教育施設等を見学し、教育委員会や役場の仕事について理解を深めました。

今回作成してもらった文化財や松島の魅力を伝える記事は、日本遺産「政宗が育んだ『伊達』な文化」公式SNSに実際に掲載しておりますので、是非ご覧ください。



▶文化財を見学しながら、どのように紹介すれば魅力が伝わるか?を考えました



▲「伊達」な文化」公式Facebook

### 「認知症」について学ぶ 小学6年生が認知症サポーターになりました

9月から11月にかけて、町内の小学6年生を対象に、高齢者や認知症のある方への理解を深め、思いやりの心を育むことを目的として、認知症サポーター養成講座を開催しました。講座では、平均寿命や高齢化率、認知症の症状や認知症の人との接し方について、認知症キャラバン・メイトである町職員や認知症地域支援推進員が説明しました。受講した児童の皆さんは高齢者や認知症の人に対して、「優しくしたい」「困っている人がいたら声をかけたい」等と話していました。



▲認知症サポーター養成講座の様子(左から松一小、松二小、松五小)